

# 子ども会でまなぼうさい

「地域で育てる子ども会」

「地域を育てる子ども会」



公益社団法人

全国子ども会連合会

## ○子ども会とは

子ども会は、地域における幼児から高校生までの異年齢の集団による活動が特質です。

キャンプやウォークラリー、野外炊事などの野外活動、伝統芸能継承、読み聞かせや紙芝居などの文化活動などのさまざまな活動を通じて、「しなやかな社会性」を身につけ、国際社会でたくましく生きる力を養います。

## ○全国こども会連合会とは

全国約10万団体、子ども約300万人、大人約100万人が活躍する子ども会を支えるために、昭和40年に設立されました。

## (1) 防災の心得を学ぼうさい ～防災・減災ワークショップ～

- ディスカッションを通じて防災・減災について**必要な心得を一人ひとりが考える。**
- 語り部による被災体験、ゲームを通じて参加者が出合い、参加型の意見交換による心得を引き出し、水性マーカーでA5の紙に書くといったそれぞれに使うツール等をパッケージ化した3時間程度の手法を開発。



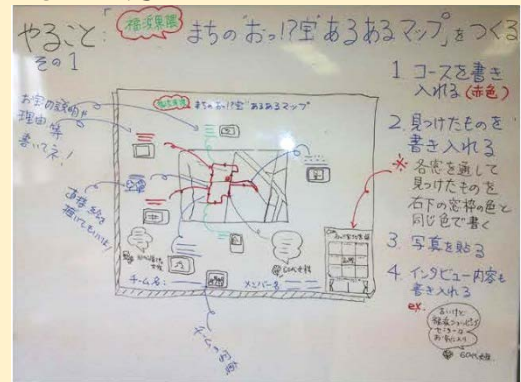
## (2) 地域の備えを学ぼうさい ～防災まち探検～

- 防災・減災の視点で自分たちの住むまちを歩き、**災害に強いところや弱いところを発見する。**
- 何をするか、チーム内の打ち解け、まち探検、まとめとわかちあい、まとめ方や色遣い等をパッケージ化した3時間程度の手法を開発

まちの人にインタビューすると、まちが鮮やかに見えてきます。



### まとめ方



### インタビューの際に渡す 名刺カード

こんにちは  
ぼくたち・わたしたちは  
災害に負けないまちづくりに向けて、  
まちを見て歩いています。

インタビューにご協力ください!!

子ども会 探検隊

## (3) 災害時に役立つ技を学ぼうさい～防災キャンプ～

・限られたモノや道具しかない不便な状況の中で、自らまたはさまざまな人と助け合って、とりあえずの生活をする技を身につける

・工夫する、助け合う、不便を楽しむなどの、被災時を乗り切るのに役立つスキルやマインドを養う

・技を見る、技をみがく、わかちあい等をパッケージ化した5時間程度の手法を開発



とりあえずの生活をする技

### 水が要らない料理

調味生詰は味が出来ます！  
他の生詰もできます。  
サバ生（しょうゆ味・みそ味）だとしょうゆも不要。  
生詰そのままの味が苦手な方に。

シーチキン  
この中の油を使いまあ！

白菜  
4枚くらいむいて使う。  
（むいたほうが傷みが遅いです）

しょうゆ  
お酢でもOK!

水分は白菜から!

### ペットボトルランタン

懐中電灯だけだと光は一方だけしか明るくなりないのでこの方法。

かいちゆうでんとう

1Lか500mlのペットボトル（水入り）  
茶や半透明色のみもので可

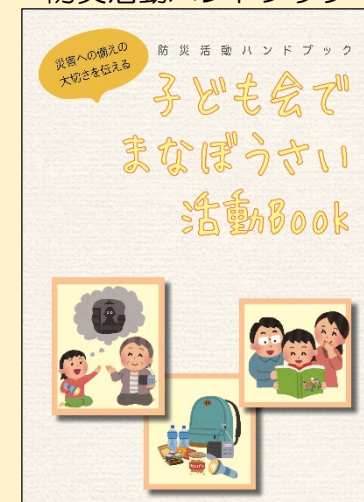
押しあてる

電灯を点灯し、ペットボトルに押しあけると光が拡散してランタンがわりになります。

## ○安全・啓発事業

都道府県・政令市レベルの子ども会では、「防災活動ハンドブック」に沿った活動を年1回以上実施するよう取り組んでいます。

防災活動ハンドブック



○身近な活動を通じて、子ども達の防災力を向上します。

## 例) 防災マップコンクール

日本損害保険協会等が主催する

「ぼうさい探検隊マップコンクール」に64団体の子ども会が応募、2作品が入賞。

ぼうさい探検隊マップコンクール  
「未来へのまちづくり賞」受賞作品

防災  
1～6年生  
27名  
三重県鳥羽市安楽島子ども会  
「安楽島キッズ探検隊」

